



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

**MANKIND IS ONE—
Build Bridges of Friend Ship
Throughout the World**

**人類はひとつ
世界中に友情の
橋をかけよう**

1982~'83 R.I 会長 向笠広次

寺田会長 クラブターゲット 大切にしよう 好い仲間と 愛するクラブ

第 235 回 例会 58 年 2 月 24 日 第 24 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
47 名	39 名	84.78%	100%

欠席者

合田、橋本、池田、菊地、古田土、近藤、三浦（病欠承認者 1 名）

本日のプログラム 3 月 3 日
卓話「孤独な赤ちゃん」 上田 利久君

次週予定 3 月 12 日
第 6 分区分 I.G.F. (厚木中 R.C.)

司会 SAA 辻 国明君
ソングリーダー 上田利久君
「それでこそロータリー」

<ゲスト>

館盛道明君（大和青年会議所理事長）
植木博一君（大和青年会議所理事）

<ビジター>

首藤隆二君（厚木中）、龜山 洸君、妻倉 旭君、野口栄三郎君（大和）

<会長報告>

会長 寺田伍六君

- ①先週例会でお知らせした新会員入会予定者の「一二三 英昭」さんは、御本人の急な都合で入会が困難となりましたので報告します。
- ②地区がバナーより 1984 ~ 85 年度ガバナーノミニ候補者として、指名委員会は川崎北 R.C 津田 進氏を決定した旨の通知が来ています。

③大和中 R.C 会長あてに、次年度の地区委員委嘱の通知が来ており、財団奨学金委員会及び特別補助金委員会の委員に就任するようにとのことです。

④富沢会員令夫人が、慈恵医大病院に入院される予定ですのでお知らせします。

⑤本日 SAA が着用している帽子及び鐘は、伊藤（英）会員がスイス旅行の土産にクラブへ寄贈されたものです。

⑥ I.G.F の開催で厚木中 R.C 首藤実行委員長が御案内に見えていますので御紹介します。

首藤 隆二氏挨拶

本年度の I.G.F のお願いに上りましたが、お手元のリーフレットの通り、3月12日（土）午後1時、厚木小杉会館で、第1部フォーラム「会員増強について」、第2部講演会「西アジアの社会と経済＝アジア経済研究所糸賀主任研究員」、第3

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央 1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南 1-4-4
八千代信用金庫大和支店 4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：寺田 伍六
会長イレフト：長谷川 清一
副会長：猪熊 唯夫
幹事：郡 司 守
会報委員：伊藤(宣)・後藤・富沢

部懇親会として開催します。全員の御登録をいただけるのとことですが楽しいIGFとする為よろしくお願いたします。

⑦大和青年会議所館盛理事長、植木理事が見えていますので御紹介します。

館盛 道明氏挨拶

青年会議所も皆様の御支援のお蔭で5周年になりますが、このたびその記念のイベントをいろいろ計画しております、今回は3月21日(祝日)午後6時、厚木基地奨校クラブで、「伊東ゆかりチャリティディナーショー」(¥17,000円)の開催の御案内に上りました。私共の意のあるところをくんでいただきどうぞよろしくお願いたします。

<幹事報告>

幹事
郡司 守君

本日例会後、5周年式典実行委員会を開催しますので、各小委員長はお残り下さい。

<委員会報告>

プログラム委員会 委員長 上田 利久君
プログラムの変更についてのお知らせ

①4月24日(日)第3回家族会中止

5月15日(日)創立5周年記念式典へ繰入れ

②4月28日(木)大和市の社会福祉について
なお3月3日(木)は、僭越ですが私が、「孤独な赤ちゃん」というテーマで代役を務めます。

クラブ会報委員会 委員長 後藤 定毅君

本日より委員長を務めさせていただきますが、例会後委員会を開催しますので、委員の方はお残り下さい。

親睦活動委員会 委員長 山中 忠誠君

本日のお祝いの人々を紹介します。

誕生日 二見 長幸君(2月18日)

杉山元次郎君(2月22日)

創業記念日 北砂 富三君(3月1日)

上田 利久君(2月25日)

ロータリー一口知識 出席は?

出席はロータリーの「とりで」であります。

出席はあなたが、どの程度ロータリー精神に徹しているかを知る物差しであります。

出席はあなたの利他的奉仕の分野を決定します。出席は所属クラブの活動に対するあなたの関心度を明示します。

出席は新しい友をつくと同時に古い友人を失いたくないというあなたの願望を実証します。

出席はロータリーがどのような意味を持つかということを明解に語るものであります。

—The Rotary Punchより—

<スマイルボックス>

副委員長

松崎 正実君

厚木中RC(IGF実行委員長) 首藤会員 本年度の第6分区IGFのホストを勤めさせていただきます。貴クラブの皆様の暖いご協力をお願い申し上げます。

大和RC 穂山会員、野口会員、妻倉会員、お世話になります。

鈴木君 ホームクラブ二度の欠席申し訳ありません。欠席のあいだ家内の誕生祝をいただき有難うございます。これからも女房をちよっぴり大切にします。

伊藤(英)君 どうか元気で行って来ました。90名の団長として楽しくおもしろく!

二見君 誕生日祝い有難う。本年は三度目の干支になりました。

杉山君 誕生日のお祝い有難うございます。50を過ぎてやっと世の中のことが考えられる様になった気がします。

北砂君 創業記念を祝って下さいまして有難う御座居ます。あと何年続くか解りませんが宜しくお願い致します。

上田(利) 開業して9年、可愛い子供相手に仕事しておりますとついハゲのことを忘れてしまいます。感謝!

〈卓話要旨〉 「音楽の世界」

有沢 昭二君

「音楽とは何んぞや」こんなことを真面目に考えたことのある人はまあ居無いと思います。言いかえるならば、それ程私達の生活の中で、音楽が、いかに必要なことであるか、又役立っているかと言うことに他ならないと思います。朝起きてから寝るまで、好ききらいには関係無く、いや応無しに私達は音楽とのかかわりを持っています。生きていくために必要な空気と同じものなのです。そもそも音楽は私達の生活の中で、必要に応じて生れて来たものであり、作られるべくして出来たものではありません。その起源は、その一つに音の響きによって合図を交しコミュニケーション（情報伝達）をはかる方法としてのものであり、又踊りや、労働に、特定のリズムや、音の響きで伴奏しようとする自然的な衝動から発達し、それが次第に音楽的創造となったもの、又感情の表現として、歌は怒り、恐怖、苦悩、喜び等を声で表現することから発展したものであります。最初は単に合図であったかもしれませんが。それが発展して、拍子（リズム）、旋律（メロディ）、和声（ハーモニー）を生んで今日の音楽を型ち作って来たのです。

音楽—英語でミュージック、ドイツ語でムジーク、スペイン語でムジカ等々……これはギリシャ神話の女神ミュージカか語源になっています。ギリシャ語ではムーサ、又はムサイ（複数）と言われる芸術で当時の人々は芸術の神としての深い信仰をもっていました。したがって音楽は単に楽しむ為だけではなく、より芸術的と言う願望を含めているのであって、自分だけが楽しむだけでは無く、その表現しようとする内容を他人、周りの人にも伝え、皆んながいい気分にならなければ本当の音楽とは言へないと思います。

今日音の公害等と言う言葉も聞かれますが、もっての他です。ロータリーも言はば一つのオーケス

トラのようなものです。寺田会長の指揮棒の下に我々会員はよき奏者として、一致団結（ハーモニー）、一条のみだれもなく、力強いリズムで、ロータリーの目的、言わば曲目、それが“世界人類の平和を願う讃歌”かも知れません。美しいすばらしい演奏が出来るよう、大和中ロータリー室内管弦楽団よ、大いに頑張りましょう。

ひと・企業…点描⑩

有沢 昭二君
(雑誌副委員長)

① 事業所名及び所在地

大和診療所 大和市中心林間1-17-9

② 創業年月日 昭和42年1月6日

③ 事業内容 内科、小児科を診療している。地域住民との親しみのある付き合いを通じ、ホームドクターとしての使命を果たしたいと思います。とくに毎日の午後は積極的にどこへでも往診に応ずるようにしている。

④ ロータリー観について 先づ第一に、種々な職業の選ばれた人との親交によって、自分自身の人格をたかめる場であると考えている。それが無ければロータリーの社会に対する奉仕など次への進展はあり得ない。

⑤ 尊敬する人物 特定の人はいない。

⑥ 座石の銘 とくにないが、今日の自由主義の意味を、はき違えた、自己中心主義に走ることの多い世の中で、何時でも、先づ、「相手の立場になってものを考えよう」と言う気持で人々に接するよう努めている。

⑦ 家族構成 妻と子供が5人の家族ですが、その中の1人は京都に在学中のため、自分入れて現在6名の大世帯です。その他、只今コーネル大学生のアメリカ娘を1人あづかっています。

⑧ 趣味 やりたいことは沢山ありますが、多忙のため結局1人でも出来る音楽鑑賞、レコードの収集と、オーディオに凝っています。

特別寄稿

“東慶州RCとの姉妹結縁調印式を終えて”

団長（国際奉仕委員長）北砂 富三君

1983年2月11日、大和中RCと東慶州RCの仮調印の日がやって来た。

私共は小武徹郎第259地区国際奉仕委員長を団顧問として総勢19名が訪韓する運びとなり、11日朝、大和市南林間駅東口に7時集合した。さすが寺田会長、余裕をもって出発ぎりぎりに到着し一同専用バスにて空港へと向った。新東京国際空港に着くまでの間、会長、団長（不肖北砂）が挨拶し小武氏より訪韓にあたって韓国の情勢、民族の違い等面白くためになる話があった。

私共は、姉妹クラブの締結は初めての事でもあり非常に興味深く拝聴した。

成田を出発して約2時間、13時30分に釜山の空港に到着し、入国に際して所定の手続きを完了し待合室へ出た所、先方の東慶州RCの鄭吉和会長始め多勢の会員が歓迎横断幕を持って出迎えてくれました。寺田会長は歓迎のレイを首にかけられて、感激の頂に達していた様でした。

そして私共一行は東慶州RCの一部の会員と一緒に専用バスにて約1時間20分位高速道路を北上し、先ず慶州市市役所へ市長を表敬訪問することになり、バスが市庁会に横づけされ、一同市長室へ案内されて、黄潤鎰市長にお会いし、両クラブの親善の目的を説明し、楽しい団欒の一時を過ごさせて戴きました。黄市長は大変若く、温厚な方であるように見うけられました。4時頃市庁舎を後にして東急ホテルへ行き、4時30分頃チェックインいたし、例会、仮調印式の時間まで、1時間半位ありましたが、鄭会長、寺田会長、郡司幹事と私（国際委員長）は休む暇もなく、仮調印式の為の準備相談をいたしました。5時45分全員ロビーに集合し、隣りにある朝鮮ホテルが会場であるため、歩いて行きましたが、韓国の夜は非常に乾燥して

いて寒く骨の芯までこおりつく程でした。

例会場の入口であちらの会員の御夫人達が私達一人一人に生花を胸につけて下さり案内してくれました。例会仮調印式そして宴会には寺田会長が話されましたように、来賓として慶州市長韓国第370地区ガバナーノミニー崔永乃氏の御臨席を戴き豪華かつ厳粛なものでした。

今回の訪韓の最大目的である仮調印式で、両会長がサインをすることで式もクライマックスに達した。姉妹クラブの意義訪問の重要性を会員各々が感じ積極的な行動、責任ある態度で振舞った事には、団長として頭の下がる思いがしました。

今後姉妹クラブとしての態度について、先ず相手クラブをよりよく知るためお互いに交流し、知人関係を発展させ職業的にも出来得る限り交際すべきだと思います。3年5年と積み重ねる事により、より心の通った姉妹クラブとなり、本当の友人関係が生まれ、行動に移せるのではないかと期待します。言葉が理解出来なくても、心は必ず通じ会えるものと思います。

訪問した私達を大歓迎して下さったその態度は実に真心のこもった友情そのものでありました。最初から最後まで私共は感激の連続でありました。比の度の大和中RCと東慶州RCの姉妹クラブ関係、“国家間の相互理解は国際政治の分野でもたらされるものではなく、隣人精神によってもたらせるものであります。世論とは個人の意見の総意であり、世論こそこの地上で最も強大な力であります”（平和への七道より）。大和中RCと東慶州RC間の姉妹関係はロータリークラブの目標である国際的相互理解及び人類の平和と善意に向うための確実な一歩であり、やがて奉仕活動以上の実を結ぶ時がやって来る日を夢見乍ら筆を置きます。

訪韓された会員の皆様、本当にご協力ありがとうございました。心より感謝いたします。